



はじめまして。カスタネット管理の三浦由子です。
5人のママで2人の息子が発達障害を持っています。

発達障害？聞いたときは何のことかわかりませんでした。ただ大事なわが子が今困っていて、きっとこれからも困りながら生きていくのではないかとどうしようもない不安が襲ってきたのを覚えています。子を思う気持ちに区切りはありません。何をしても不安で不満での繰り返しです。

でもね、子どもには親の笑顔が一番です。私たちは子どもたちの療育だけでなくお父さん、お母さん達の一番の味方でいたいと思っています。

一人ではありません。
一緒に考えて悩んで、見守っていきませんか。

カスタネット 管理者
三浦由子

療育について

1 ビジョントレーニング

発達障害の子に多い、板書が遅い、音読がどこを読んでいるか解らなくなる、字がしっかり書けないなどは、眼の周りの筋肉が固まっているためと言われています。ビジョントレーニングでは、主にこの筋肉をほぐし、視界を広げるところから始めます。

2 運動

体幹の弱い子がほとんどですので、そこを鍛えることを主としていますが運動はまず、ルールを守ること・協調性をもつこと・順番を待つこと・人を応援する気持ち・達成できたことを素直に喜ぶ気持ちを養うことができます。

3 SST

SSTは「やっていいことわるいこと」「こんなときどう思う？」など子どもたちの日常におこっている事案を課題とし、発言をさせて意識させる所から物事の良し悪しを学びます。約10分頑張ります。

4 学習支援

平日は約30分。宿題をやり終わったら勉強につながる教具をして学ぶことの楽しさも身に着くように心がけています。月2~3回土曜日午前中は学習支援の時間とし、国語・算数のドリルに取り組んだり、苦手としている課題の時間にあてたりとしっかり時間を取ります。

5 カード

瞬時に見たものを記憶し答える「フラッシュ」、点を見せて数を答える「ドット」、カードも色々な使い方をして見る力、答える力をつけていきます。例えば「ピーマン」の絵をみせて、料理名などを質問します。

6 母と子のカード

お母さんに抱っこされると赤ちゃんが泣き止むことが多いと思います。「安心」を感じるのに一番の方法だからです。このプログラムは「お母さんが触る」というのが基本となりますが、自分から触れることで、自分の存在の認識を感じてほしいと思っています。

運動の参考資料
FACEBOOKに
ジャンプします。



お父さん・お母さんの気持ちに一番近い存在でありたい。



一般社団法人 ぷらす 放課後等デイサービス・児童発達支援

カスタネット

カスタネット

〒205-0001 東京都羽村市小作台 1-7-2 東海ビル202
TEL:042-533-6501 FAX:042-533-6502
e-mail :kanri-1plus@castanetton.net

www.castanetton.net



運動



ビジョントレーニング



SST



学習支援



カード

母と子の
ディベロップ
メンタルプログラム

🐷 カスタネット 療育の特徴 🐷

1 ビジョントレーニングの時間

目の動きだけでなく指先の使い方も学べる様に1・2週間同じことを行います。製作をしながら身につけていくなど、達成感につながることも織り込んでいます。直線・曲線を書く・つなぐ・切る・結ぶ・ちぎる・丸める・広げる・折る・まねる・とる・なげる・たたむ・さく日常生活ではもっとたくさんの「動き」があります。ひとつずつゆっくりトレーニングしていきます。子どもたちの視界は思っている以上に狭く、また視線の方向が必ずしも見えているとは限りません。また、見えたことを理解し、すぐ行動を起す事も苦手です。日々の生活の中でも「なんでやらないのだろう」「できないのだろう」と感じる事もたくさんだと思いますが、一呼吸してみてください。ゆっくりできる事が増えていると思います。30分の中で3つの事を行える様に構成しています。集中力は10分が限度です。「①書く②作業③動く」で、飽きられる事のない様に頑張ります。

2 宿題・学習の時間

ほとんどのお子様、宿題をもって来所されます。活動終了後、ご自宅で宿題をすることは時間的に大変であろうことは予測されますので、宿題はできる限り終わらせて帰宅できるよう考えています。宿題をすることで躓き箇所がある場合は、カスタネットの教材で補習しています。宿題の無いお子様には、学習の基礎となる課題を中心に提供しています。学習全般を通し、言語獲得のための模倣の力や思考するための秩序の理解力を伸ばせるよう応援しています。

3 運動の時間

運動感覚と均衡感覚を育てよう心がけています。運動感覚とは、目の瞬きから歩く、走るといったことまで、全ての運動を知覚する感覚です。自分の体の動きを知り、自分の思い通りに体の部分や全体を動かすことのできる力です。運動感覚の混乱は子ども自身の、自分の体を自分の思い通りに動かせないという苛立ちや不安へとつながり、子どもに大きなストレスをあたえます。均衡感覚とは自分が平衡にあるかどうかを感じ取り、直立したり、他の姿勢でバランスを取ったりする助けをする感覚です。自分自身が上下左右前後の空間の中で、どのような位置にあるのかを知覚する力でもあります。均衡感覚は運動感覚とともに姿勢の保持に影響します。均衡感覚にかかわる器官は耳の奥にある、聴覚とも深くかわりがありますので、『均衡感覚』に問題があると、『聴覚』にも問題が現れ、それは言語の遅れ、思考発達の遅れにもつながると言われています。

4 ディベロップメンタルプログラム

鍼灸師の早美先生監修のもと子どもたちにDPスマイルというマッサージを行っています。子どもに絵を描かせたら、〇に目らしき口らしきものが書いてあり〇から直接によろよろ～と手足らしきものが書いてある。見たことありませんか？体というイメージがないとこういう絵を描くそうです。子どもたちは思った以上に自分の体のことがわかりません。また体の動かし方がわからないので筋肉などが十分に発達せず、体幹が弱いか運動能力が低下してる、、、なんて言われています。マッサージを行うことでまっすぐ座れる子も増えてきました。子どもたちも気持ちいいと言ってきたり、また今日は触って欲しくないなど意思を伝える事も出来る様になりました。体のあらゆる角度から刺激を与えていく予定です。今後も先生を交えての講習会は続きますのでご興味のある方はご参加ください。

お父さん・お母さんの気持ちに一番近い存在でありたい。

5 からだの学習（土曜日2回）

基本的な体の仕組みを学習するとともに、自分の体や心の変化について学びます。誰でも自分の体の主人公です。自分の体の事を学習すると「なぜ?」「どうして?」という疑問がわいてきます。体の知識を持つことで自分のからだや友だちのからだへ関心を広げ、命や体の大切さ、愛おしさの心へとつなげていきます。プライベートゾーンや友だちとの距離の取り方・パーソナルエリアなど、他者との付き合いの基本となる関係性の認知に繋げていきます。

からだの学習年間予定表

	テーマ	制作
1	春の自然 菜の花のつくり おしべとめしべ	
2	からだの名前 からだのつくり	
3	骨格 骨のつながり	骨格を作る 頭蓋骨
4	筋肉 筋肉のはたらき	骨格を作る 背骨
5	皮膚 皮膚のはたらき	骨格を作る 肋骨
6	消化器 口 歯	骨格を作る 腕
7	太陽と地球 四季と日の出・日の入りの仕組み	骨格を作る 足
8	消化器 食道 胃	内蔵を作る 食道・胃
9	消化器 小腸 大腸	内蔵を作る 小腸・大腸
10	消化器 肝臓 復習	内蔵を作る 肝臓
11	腎臓 膀胱	内蔵を作る 腎臓・膀胱
12	呼吸の仕組み 肺	内蔵を作る 器官・肺
13	心臓 血管	内蔵を作る 心臓
14	血液	くみたて
15	五感 触覚 味覚 嗅覚 資格 聴覚	くみたて
16	目のはたらき 耳のはたらき	
17	食べ物の話	
18	脳	
19	男女の体	
20	せいちょうと老化	
21	受精から出産	
22	胎児と幼児期の育ち 自分の振り返り	
23	世界の人々 人種と風習 いろいろな家族	
24	LGBT	

ご参考までに

からだの学習は土曜日の契約の子を優先となりますが、参加ができないわけではありません。各ご家庭ご予定もあると思いますが、「学習だけ参加したい」というご希望がありましたらご相談ください。(学習のみ午前中参加) また、保護者の方の参加も可能です。性教育などは質問されても同じように答えないと理解できなくなってしまうので、参考にさせていただいてもいいと思います。いずれにせよ、お気軽にお声掛けください。

